

科目名	特別演習（卒業必修）			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2022年度 前期～後期	単位数	2	
担当教員	葉山 亮三			
内容および計画	<p>幼児期における発達段階の変化に関心を持ち、それぞれの年齢時期に現れる造形表現、身につける造形能力の変化を学び、幼児の実態を把握する。造形素材、技法、作品を学び、ものづくりの持つ様々な表現とそれぞれのをねらいを理解する。幼児の立場、指導者の立場を模擬授業を体験することで考える。幼児に対して行う造形実践案について、内容と流れを検討し、考案する。一連の流れの中で、受講者の関心に即したテーマを設定し、各自研究を進め論文を作成する。概略は以下の3点となる。</p> <p>①ものづくり、造形教育の知識、技術を習得する。</p> <p>②実践的な活動、制作を計画し、行う。</p> <p>③各自の研究テーマを設けて、考察し、論文を作成する。</p>			
1	オリエンテーション			
2	保育教材の作成			
3	様々な表現法①			
4	様々な表現法②			
5	幼児の造形表現 ～発達段階の理解～			
6	教材研究①			
7	教材研究②			
8	ワークショップ① ～準備～			
9	ワークショップ② ～体験～			
10	ワークショップ③ ～準備～			
11	ワークショップ④ ～体験～			
12	造形プログラム① ～内容検討～			
13	造形プログラム② ～プレゼンテーション～			
14	造形プログラム③ ～試作～			
15	造形プログラム④ ～準備～			
16	造形プログラム⑤ ～実践～			
17	造形プログラム⑥ ～振り返り～			
18	論文テーマの検討			
19	論文の作成方法 ～文献考証～			
20	論文の作成方法 ～データ結果のまとめ～			
21	論文作成① ～導入～			
22	論文作成② ～仮説～			
23	論文作成③ ～検証～			
24	中間発表			
25	論文作成④ ～中間発表を踏まえて～			
26	論文作成⑤ ～考察～			
27	論文作成⑥ ～まとめ～			
28	発表①			
29	発表②			
30	まとめ			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年

<b>参考書</b>	適宜、資料を用意します。			
<b>成績評価</b>				
	<b>評価方法</b>			<b>割合(%)</b>
	企画力、発案力、行動力等			20
	制作物、準備課題等			30
	卒業研究			50
<b>学習到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の造形表現と発達段階について理解し、実践できる力を養う。</li> <li>・ 幼児の造形表現について研究し、論文もしくは実践報告をまとめる。</li> </ul>			
<b>先修条件</b>				
<b>実務経験</b>	実務経験あり：造形教育者として、小学生を対象とした河合塾美術研究所こども教室の講師を11年勤め、その間、幼児、小学生を対象とした造形教室、造形ワークショップを幼稚園、美術館、アートイベントにて実践してきた。			
<b>その他</b>	各自が造形表現を楽しみ、伝える力を持ちましょう。			